



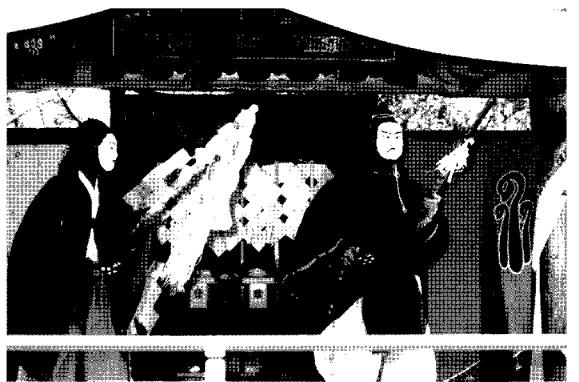
⑥ 総社神社本殿

## 元総社・東の文化財めぐり



前橋市教育委員会

文化財保護シンボルマーク



⑥ 総社神社太々神樂



⑩ 鳥羽の大日如来・笠塔婆

### 元総社・東の歴史

元総社地区は、奈良時代に国を治める役所である國府が置かれ、周辺の國分寺・國分尼寺とともに上野國の中心として栄えました。

町名の元となつた総社神社は、平安時代に上野国内の神社を合祀した神社で、深い縁に囲まれており、目にみえない歴史の深さを感じさせます。総社神社の周辺には昌楽寺、徳藏寺、釈迦尊寺の寺院があります。

15世紀前半、上野国守護代長尾景行によって古代国府跡に築かれた蒼海城は、平地に築かれ城下町をもつた城としては上野国内で最初といわれています。やや遅れて築かれた石倉城は、戦乱の時代、北関東の要の城として悲惨な戦いの歴史を繰り返しました。

また、この地域には徳藏寺の十王像、総社神社の双体道祖神、神明宮の百庚申、林倉寺の片腕地蔵などさまざまな石造物があり、昔の庶民信仰の一断面を知ることができます。

さらに、現在でも地域の人々から稻荷新田の薬師さまと呼び親しまれている石造物、生糸の輸出でにぎわつた近代前橋を語る前橋ステーション跡など多くの文化財があります。

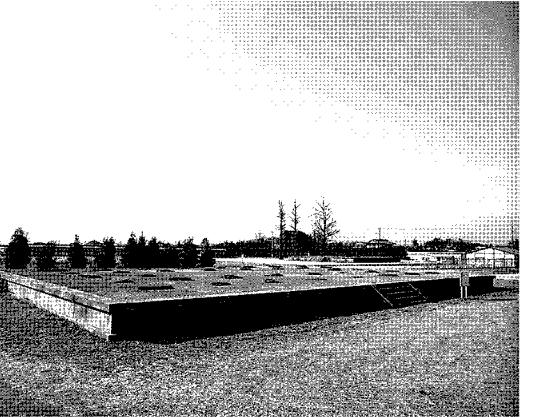
このガイドを参考に、自分なりの文化財めぐりコースをつくり訪ねてみたらいかがでしょう。

### 問い合わせ先 文化財保護課

前橋市三俣町二丁目10-2

TEL 027-231-9875

FAX 027-231-9862



① 上野国分寺跡



④ 蒼海城跡（宮鍋様）

- ② 丁間稻荷 周屋町二丁目3-4  
丁間稻荷は、天狗岩用水開削のための測量の基点であったといわれ、この塚の上から北を見通すと、天狗岩用水が宝塔山古墳と愛宕山古墳の間を通っていることがわかります。また、ここには北方300mから移された笠葉師塔婆（市重文）があり、平安末期の民衆の仏教に対する信仰の姿を知ることができます。
- ③ 王山古墳（市史跡）（王山公園） 大渡町一丁目6-1  
6世紀初頭頃に造られた墳丘約76mの前方後円墳です。最初に円墳として後円部が、後に前方部が造されました。後円部は川原石で積まれた「積石塚」で、石室の長大さに特徴があります。
- ④ 上野国府跡 宮鍋様 元総社町宮鍋（宮の辺）  
都と深く関わる地方政治の中心。国府には中央から来た長官のいた「国庁」、役人のいた「曹司」、宿泊施設「館」、食事をつくる「厨」、「学校院」などたくさんの建物があつたとみられます。近年、元総社地区的調査が盛んになり、国府と関連するとみられる建物跡、墨書き土器、記りの道具などが上野国府跡から発見されています。

### 元総社・東の文化財を訪ねて

深い縁に囲まれた総社神社周辺には、徳藏寺をはじめとする寺院があり、さらに北西側には蒼海城跡と、国府であつたことがしのれます。

① 上野国分寺跡（国史跡）元総社町～群馬町東国分地内  
天平13年（741）、聖武天皇の詔により全国に国分寺が建立されました。上野国分寺の寺域はほぼ方2町（約200m四方）で、塔や金堂の基壇や礎垣の一部が復元されています。

寺のようすを記した文献もあり、全国の国分寺研究者からも注目されています。ここには、県の案内施設があります。

② 丁間稻荷 周屋町二丁目3-4  
丁間稻荷は、天狗岩用水開削のための測量の基点であったといわれ、この塚の上から北を見通すと、天狗岩用水が宝塔山古墳と愛宕山古墳の間を通っていることがわかります。また、ここには北方300mから移された笠葉師塔婆（市重文）があり、平安末期の民衆の仏教に対する信仰の姿を知ることができます。

③ 王山古墳（市史跡）（王山公園） 大渡町一丁目6-1  
6世紀初頭頃に造られた墳丘約76mの前方後円墳です。最初に円墳として後円部が、後に前方部が造されました。後円部は川原石で積まれた「積石塚」で、石室の長大さに特徴があります。

④ 上野国府跡 宮鍋様 元総社町宮鍋（宮の辺）  
都と深く関わる地方政治の中心。国府には中央から来た長官のいた「国庁」、役人のいた「曹司」、宿泊施設「館」、食事をつくる「厨」、「学校院」などたくさんの建物があつたとみられます。近年、元総社地区的調査が盛んになり、国府と関連するとみられる建物跡、墨書き土器、記りの道具などが上野国府跡から発見されています。

この地は上野国府推定地であり、宮鍋の地は元の総社神社のあつた場所とされています。

④ 蒼海城跡  
上野国守護代総社長尾氏により造られ、15～16世紀中頃の戦乱の

⑩ 鳥羽の大日如来及び笠塔婆（市重文）鳥羽町81 鳥羽町東部公民館

一石で彫られた大日如来坐像は全体的におあらかな構図が特徴です。造立は鎌倉時代中期頃と推定されます。また、すぐ隣にある笠塔婆は、鎌倉時代後期頃のものと考えられます。

⑪ 大福寺の宝塔（市重文）鳥羽町717  
大福寺は応永元（1394）年に創建。本堂の左手に宝塔（五輪塔）2基があり、一基には応永25（1418）年の造立年代と逆修として人々が心を一つにして先祖の靈をとむらつたことが分かる銘があることで貴重なものです。

⑫ 石倉城跡 石倉町五丁目8 石倉城二の丸公園  
文明17年（1485）総社長尾氏により築城されたという石倉城は、天正18年（1590）に豊臣勢の攻進により廃城となるまで、北関東の要として上杉・武田氏による幾多の攻防と流血の歴史をくり返しました。現在は利根川の流れで主要部分はくずれてしましました。

⑬ 神明宮 石倉町四丁目10-4  
豊城入彦命（崇神天皇の皇子）が東国遠征の時、しばし戦いをやめ、身体を休めたとの言い伝えられる場所。

庚申の信仰は江戸時代に庶民の間で流行し、さかんに塔が造されました。ここにある庚申塔はほとんどが文字庚申ですが、中には青面金剛像を彫った立派なものもあります。

⑭ 林倉寺 石倉町四丁目6-15  
慶長2（1597）年、行海法印建立開山。

境内には災難を一身に引き受ける地蔵（身代わり地蔵）として信仰を集めた伝説の片腕地蔵や十王堂があります。また、山門の入口には明治11年に天皇が前橋駅へ行幸したときの御野立所跡の碑が建っています。

⑮ 前橋ステーション跡 石倉町一丁目交差点  
明治17年（1884）8月、石倉町（当時は内藤分といわれていた）に前橋停車場ができました。明治22年（1889）12月に利根川の架橋

世に存続した城で、複雑な堀が確認されてきました。

⑤ 昌楽寺 元総社町2-31-25

平安時代以前の創建と伝えられていますが、数度の火災により記録は全く残っていません。総社町山王の日枝神社には、白鳳朝の寺院跡（山王廢寺）を示す塔の心礎と昌楽寺廻りの小字名があるので、この地にあった寺が昌楽寺の前身と考えられます。

⑥ 総社神社 元総社町1-31-45

平安時代に上野国内549社を合祀し、国司の遙拝所となった神社で、戦国時代に焼かれ、江戸時代に再建されました。

修復を行つた本殿（県重文）・拝殿（市重文）や御神体である総社本上野国神名帳や懸仏・雲版（以上県重文）＊・太々神樂（市無文）・簡粥置炭式（市無文）・算額や絵馬などがあります。

また、神社の森を形成している樹木のうち、特に大きなケヤキ6本が叢ヶヶ原（市天記）として指定されています。

⑦ 德藏寺 元総社町1-31-38

この寺は、神仏習合時代には上野国総社神社の別当寺でした。総社神社の南にある徳藏寺の本堂前の参道には、不動明王・淡嶋様などの石造物が配列されています。また、金箔がほどこされ、銅でできている懸仏や両界曼荼羅（以上市重文）＊・六地蔵石幢（輪廻塔）などがあります。

⑧ 元総社町石井家のクスノキ（市天記）元総社町2221

目通り周6.4m、根周り18.0m、樹高27.5mのクスノキです。石井家の先祖が、江戸時代の寛文年間（1661～1673）に伊勢神宮よりも古い移植したものと伝えられています。樹形・樹勢ともに良好な貴重な樹木です。

⑨ 釈迦尊寺 元総社町2502-2

釈迦如来像を本尊にしているところからその寺名がつきました。境内には寺開基の伝説となっている羊太夫に係わる羽鳥連（一説には玉照姫）の墓などがあります。

ができ、現JR前橋駅の所に駅が移るまで、内藤分の駅は生糸輸送で大変にぎわいました。

⑯ 大徳寺 小相木町91

元和元年（1615）開山の大徳寺には、後家村の名工田村八兵衛作の四脚門という特異な構造を持つ総門（市重文）と、1712年作の非常に精巧に作られた金銅製の多宝塔（市重文）＊があり、塔内部には6体の仏像があります。

⑰ 真政の渡し跡と水神社

真政の渡し（現南町二丁目・小相木町利根川畔）は、江戸時代、前橋藩にとって重要な舟着場で、交通の要所として番所がおかされました。

水神社は、この地の船頭たちが利根川の水難防止を願い「水波能女命」を祀り、村の氏神として信仰されました。

⑱ 雷電神社の太々神樂 上新田町1085

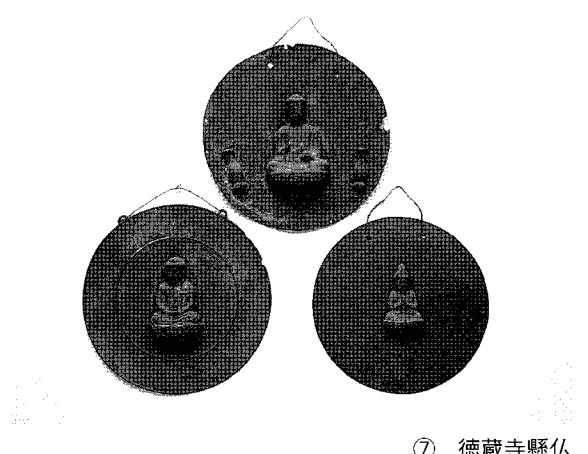
雷電神社は、天正元年（1573）福德寺の開山覚伝の創建と言われています。この神楽殿で舞われる太々神樂は、明治時代中頃から毎年4月8日に奉納されています。舞も囃子も総体的にテンポが早く、よりにぎやかに、より華やかにという意気込みがうかがえます。

⑲ 稲荷新田の薬師（市有文）稲荷新田町458 稲荷新田公民館

この薬師に願いをかけると万病にきくといわれ、周辺の村から参拝する信仰が現在も続いています。2月22日の二十二夜講の時にはこの薬師の和讃が唱えられます。また、周囲には小石仏がたくさんあり、中には南北朝時代のものと推定されるものもあります。

重文……重要文化財 有民文…重要有形民俗文化財  
無文…重要無形文化財 無民文…重要無形民俗文化財  
天記……天然記念物

\*については、ふだん公開されていません。



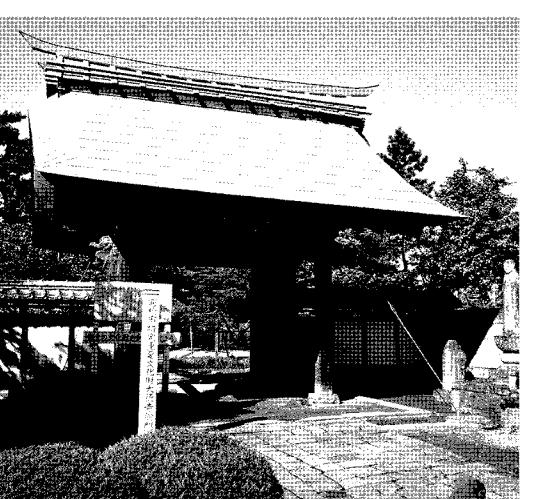
⑦ 徳藏寺懸仏



⑩ 鳥羽の大日如来・笠塔婆



④ 上野国府（国庁）推定復元図

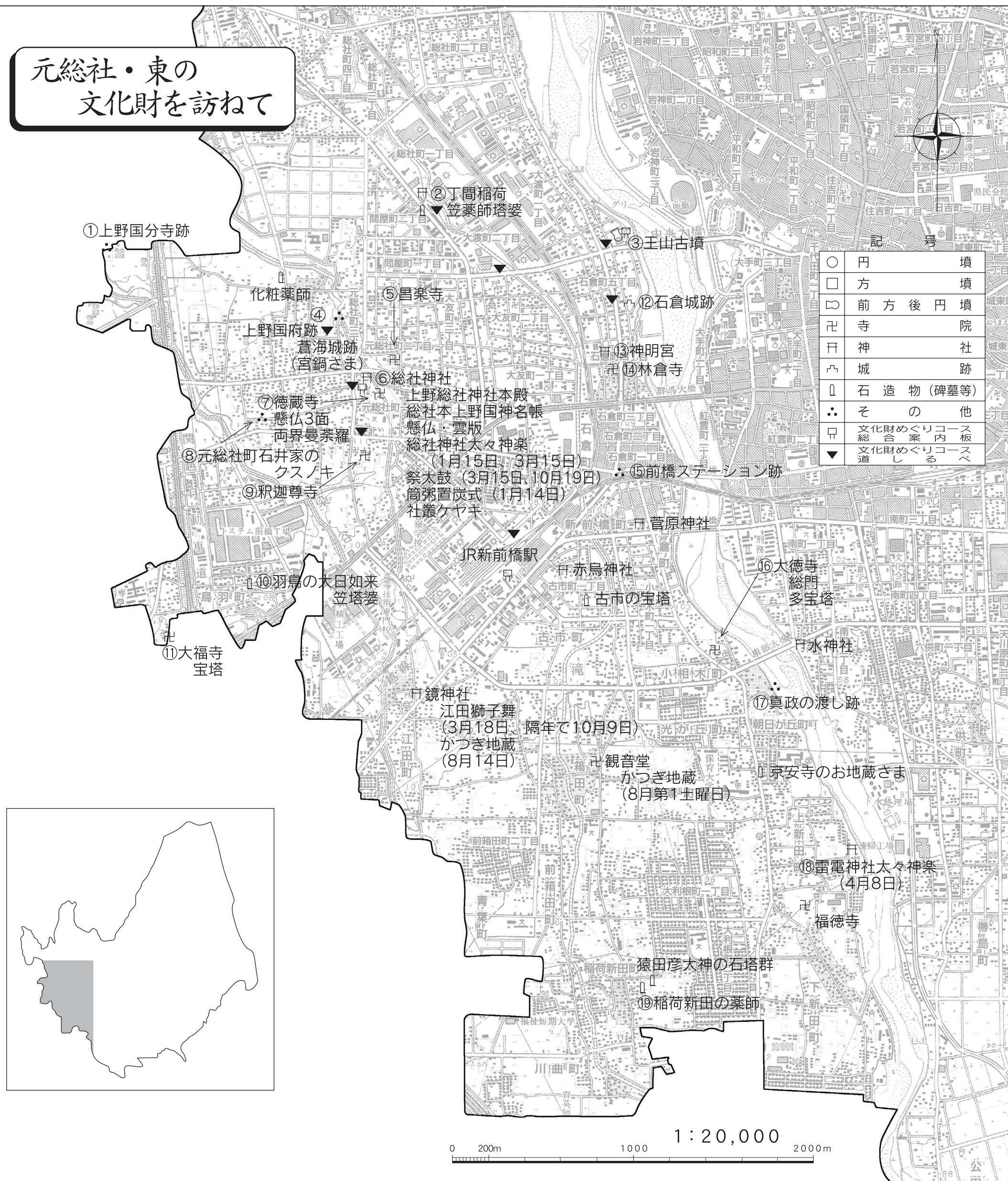


⑯ 大徳寺総門



⑯ 大徳寺総門

# 元総社・東の 文化財を訪ねて



## 【文化財めぐりコース】

## 《元総社コース》

A map showing the walking route from Shin-Mejiro Station to Terauchi Shrine. The route starts at Shin-Mejiro Station and goes through the following locations: Kōtoku-in Temple, Ōsaka Shrine, Kōryū-ji Temple, Kōshō-ji Temple, Kōfuku-ji Temple, and ends at Terauchi Shrine. The distance between each location is indicated by a horizontal line with a label above it. Vertical lines connect the stations to the locations they pass through. The total distance is 4.2km.

Location	Distance from Previous Location
新前橋駅 (Shin-Mejiro Station)	-
釈迦尊寺 (Kōtoku-in Temple)	1.2km
総社神社 (Ōsaka Shrine)	0.5km
徳藏寺 (Kōryū-ji Temple)	0.3km
昌楽寺 (Kōshō-ji Temple)	0.6km
丁間稻荷 (Terauchi Shrine)	-

《東コース》

新前橋駅 — 0.6km 古市の宝塔 — 1.2km 大徳寺 — 0.4km 真政の渡し跡 — 1.6km 雷電神社

1.2km 鏡神社 — 1.4km 観音堂 — 2.0km 稲荷新田の薬師 — 1.4km 福德寺

0.5km